

2019年5月31日

智頭急行株式会社

## 2018年度の智頭線の利用状況について

輸送人員全体では1,143,913人(97.3%)と31,440人の減となりました。1日平均は3,134人と86人の減となりました。

### 1. 特急列車利用状況

上期は、6月18日に発生した「大阪府北部地震」による旅行中止の影響や、「平成30年7月豪雨」による列車の運休及び部分運休、8月から9月にかけて発生した台風20号、21号、24号、25号の接近や大雨による列車の運休、下期は前年(2017年度)11月に鳥取砂丘で開催されたポケモンGOイベントによる増加の反動による減少などの影響により、前年を43,240人下回り、860,083人(95.2%)と大きく減少しました。鳥取県中部地震が発生した2016年度をも下回り、過去3年で最も低い輸送人員となりました。

#### (1) スーパーはくと〔上期(94.3%)、下期(97.1%)、通期(95.8%)〕

輸送人員は611,856人(95.8%)と26,766人の減となりました。1日平均は1,676人と前年(2017年度)の1,750人を下回りました。「平成30年7月豪雨」では、7月6日から13日まで8日間スーパーはくと全列車が運休、7月14日から17日までの4日間は鳥取駅～智頭駅間をバスによる代行輸送を行うとともに智頭駅～京都駅間で運転を再開し、7月18日から全区間で運転を再開しました。年間の平均乗車率は、47.2%でした。月別の輸送人員は、8月が最も多く67,317人(前年同月0.9%増)でした。

#### (2) スーパーいなば〔上期(89.8%)、下期(97.5%)、通期(93.8%)〕

輸送人員は248,227人(93.8%)と16,474人の減となりました。1日平均は680人と前年(2017年度)の725人を下回りました。「平成30年7月豪雨」では、7月6日から17日まで12日間スーパーいなば全列車が運休し、7月18日から運転を再開しました。年間の平均乗車率は、51.0%で過去3番目に高い数字となりました。月別の輸送人員は、8月が最も多く24,374人(前年同月4.2%減)でした。

### 2. 普通列車利用状況

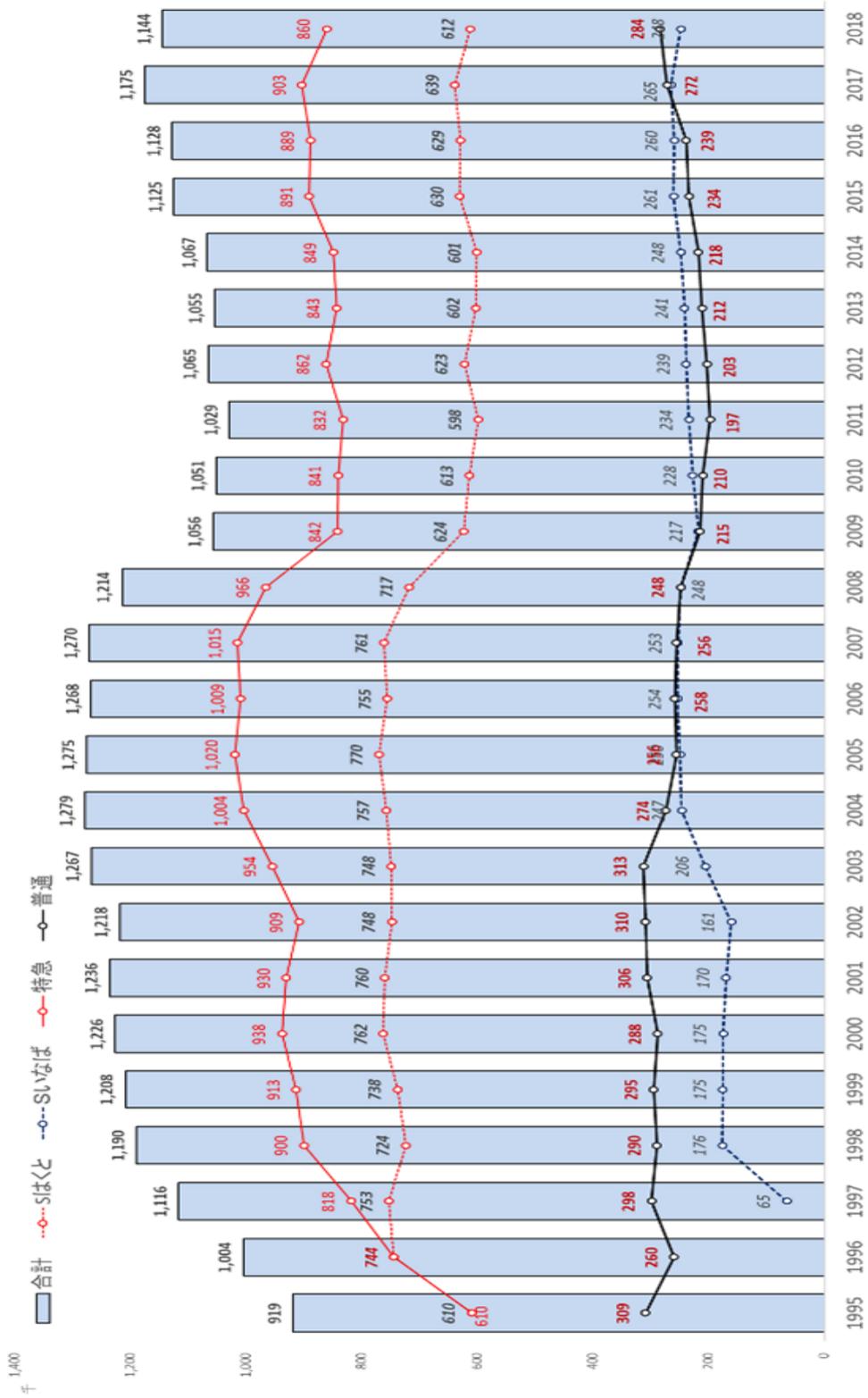
2015年度の佐用高校通学エリア変更に伴い、毎年列車通学生が増えており、2018年度は283,830人(104.3%)と11,800人の増となりました。1日平均は778人となり、前年(2017年度)の745人を上回りました。定期は166,440人で通勤定期・通学定期ともに増となり対前年度110.1%(15,240人増)、定期外は117,390人で「平成30年7月豪雨」や台風の影響、ポケモンGOイベントの反動などにより、対前年度97.2%(3,440人減)でした。

(列車別利用状況) (( )内は1日平均)

(単位：人、%)

種別	2018年度	2017年度	対前年	増減
スーパーはくと	611,856 (1,676)	638,622 (1,750)	95.8 (95.8)	△26,766 (△74)
スーパーいなば	248,227 (680)	264,701 (725)	93.8 (93.8)	△16,474 (△45)
(特急計)	860,083 (2,356)	903,323 (2,475)	95.2 (95.2)	△43,240 (△119)
普通列車	283,830 (778)	272,030 (745)	104.3 (104.3)	+11,800 (+32)
(総計)	1,143,913 (3,134)	1,175,353 (3,220)	97.3 (97.3)	△31,440 (△86)

乗車人員の推移



お問い合わせ  
 運輸部営業課  
 電話 0858-75-2595